

## 平成 26 年度 市民公開シンポジウム

「肺の生活習慣病 COPD を知っていますか？ 息苦しい病気は困りますよね」

公益社団法人 日本放射線技術学会  
教育委員会，放射線撮影分科会，近畿部会

『国民衛生の動向』（一般財団法人厚生労働統計協会編『厚生の指標』増刊）によれば、慢性閉塞性肺疾患（以下 COPD）は平成 22 年度（2010 年度）以降、死因の第 9 位に位置している。COPD による死亡総数は増加傾向にあり、2010 年度には 16000 人を超えた。厚生労働省による医療諸統計は、医療行政の基礎資料を得る目的で実施されており、医師の診断した疾病に基づく調査で、対象患者から推定される日本人の COPD 有病率は 0.2～0.4%となっているが、一方、住民調査による大規模な COPD 疫学調査、NICE study(Nippon COPD Epidemiology)では、スパイロメトリー（呼吸機能検査）で 40 歳以上の 10.9%に気流閉塞が認められ、喘息を除くと日本人の COPD 有病率は 8.6%と推測される。この結果は COPD 患者が見過ごされている現状が浮き彫りにされ、40 歳以上で 530 万人、70 歳以上では 210 万人が罹患していると考えられている。

「COPD とは、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。呼吸機能検査で正常に復すことのない気流閉塞を示す。気流閉塞は末梢気道病変と気腫性病変が様々な割合で複合的に作用することにより起こり、進行性である。臨床的には徐々に生じる体動時の呼吸困難や慢性の咳、痰を特徴とする（COPD 診断と治療のためのガイドライン 第 3 版からの定義抜粋）。」 日本名における COPD は通称「たばこ病」であり、COPD 患者の約 90%には喫煙歴があり、COPD による死亡率は非喫煙者に比べて喫煙者は 10 倍高い。

本シンポジウムは、一般市民を対象として COPD の病態解明について詳細に解説し、禁煙の大切さを再認識していただく。まず基調講演として COPD の診断と治療について、総括的に話ししていただき、COPD 診断のゴールドスタンダードであるスパイロメトリーの検査技術について紹介していただく。次に、画像診断技術の進歩により、簡便に行われるようになった X 線 CT 検査での診断および撮影技術について解説する。さらに、治療への第一歩としての喫煙指導の現状、長期治療としての呼吸リハビリの現状について紹介し、COPD 患者の社会復帰および生活習慣の改善方法について具体的に解説する。シンポジウムの最後には、総合質疑応答の時間を設けて会場からのご質問にできる限り回答する。

本シンポジウムが、COPD への理解を深め、禁煙の重要性について再認識していただく契機となることを切望するとともに、市民の皆さまの健康維持に貢献できれば幸いです。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

## 記

日時 : 平成 26 年 12 月 13 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 30

会場 : メルパルク京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13

TEL 075-352-7444 (代)

参加費 : 無料

事前申込 : 不要

プログラム :

司会 : 本郷 隆治 (京都桂病院), 錦 成郎 (天理よろづ相談所病院)

### 1. 基調講演

「肺の生活習慣病 COPD とは？」

千葉大学呼吸器内科

巽 浩一郎

### 2. シンポジウム

1) あなたの肺年齢をご存じですか？

京都桂病院検査科

青木 由美子

2) COPD 診断において CT は何故必要か？

東千葉メディカルセンター放射線部

梁川 範幸

3) COPD 患者に対する禁煙指導の実際

滋賀医科大学医学部臨床看護学講座

森本 明子

4) 呼吸リハってこんなにいいもの？

京都桂病院リハビリテーションセンター

藤川 紀子

### 3. 総合質疑・応答

後援 : 京都府, 京都市, 京都府医師会, 京都私立病院協会, 京都府放射線技師会,  
京都府看護協会, 京都府栄養士会, 京都府臨床検査技師会, 京都リビング新聞社,  
KBS 京都, 京都新聞

連絡先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会事務局

TEL 075-354-8989

FAX 075-352-2556